

HISAKA

中間株主通信
2016

第87期 2015年4月1日から
2015年9月30日まで

 株式会社 日阪製作所

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、堅調な米国経済が牽引したものの、中国経済の減速懸念とこれを契機とした株式市場の不安定化や新興国の景気停滞など、不透明な状況で推移いたしました。一方、わが国経済は、大企業を中心とした業績回復や雇用環境の改善、設備投資需要の向上もあり、緩やかな回復傾向で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、国内の設備投資需要の取り込みや海外プラント案件に注力するとともに、中期経営計画「G-14」における成長戦略として、国内営業一部の大坂駅近傍への移転や九州・北九州支店の開設準備を進めました。また、生活産業機器事業におけるタイ駐在員事務所の開設やその他事業における中国の華東・華南地区の営業・サービス強化を目的とした広州分公司・南京営業所の開設を行いました。

以上の結果、当社グループの内部取引消去後の受注高は、熱交換器事業での海外案件や国内におけるメンテナンス需要が堅調であったこと、また生活産業機器事業での染色仕上機器の大口受注が寄与したことから、12,969百万円（前年同期比100.9%）となりました。

売上高は、熱交換器事業での海外大口案件の売上計上や基盤機種 of 売上拡大、バルブ事業の海外売上 of 回復、その他事業のマイクロゼロ株式会社のプラント売上等があったことにより、12,779百万円（同110.7%）となりました。

利益面では、一部低採算案件があったことや人材投資による固定費増加等があったものの、売上の増加要因に加え、円安による競争力改善等があったこともあり、営業利益は710百万円（同103.1%）となりました。経常利益は海外現地通貨の下落による為替差損を計上したこともあり、819百万円（同85.9%）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、本社移転費用を特別損失に計上したこともあり、462百万円（同72.1%）となりました。

2016年3月期の通期予想は、売上高25,000百万円、営業利益1,450百万円、経常利益1,750百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,170百万円の見込であります。

株主の皆さまには、何卒今後とも一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月 代表取締役社長 前田雄一



(参考)

単位：百万円

区分	年度	第85期中間 (2013年9月期)	第86期中間 (2014年9月期)	第87期中間 (2015年9月期)	第85期 (2014年3月期)	第86期 (2015年3月期)
受注高		10,702	12,848	12,969	23,082	25,391
売上高		11,621	11,543	12,779	23,181	24,398
営業利益		1,204	689	710	1,757	1,342
経常利益		1,409	954	819	2,268	1,831
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益		966	641	462	1,480	1,313
1株当たり 四半期(当期)純利益(円)		31.30	21.49	15.51	48.50	44.01
総資産		54,094	56,711	59,777	55,129	63,252
純資産		45,553	46,822	48,409	45,985	50,963
1株当たり純資産額(円)		1,475.54	1,567.85	1,620.95	1,539.75	1,706.50

トピックス

Topics

2015年5月25日に、業務拡大に伴って、本社と国内営業一部を大阪市北区へ移転しました。
新本社の外観と地図は次のとおりとなります。



交通アクセス

各最寄り駅からのアクセス

- ▶ 地下鉄御堂筋線
梅田駅 14、15番出口から徒歩3分
- ▶ 谷町線
東梅田駅 2番出口から徒歩1分
- ▶ 阪神阪神本線
梅田駅 東口から徒歩2分
- ▶ JR各線
大阪駅 南口から徒歩5分

熱交換器事業

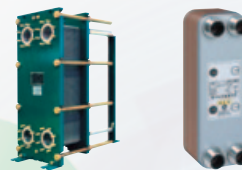
Heat
Exchanger

当事業の受注は、東京再開発案件での空調や、大型コンテナ船・LNG船の大型受注及び海外案件が好調に推移し、前年同期を上回りました。

売上は、好調な受注環境による基盤機種種の売上増加や海外大型案件の売上計上が寄与し、前年同期を大幅に上回ることであります。

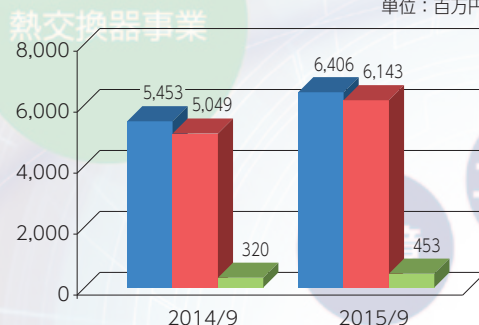
セグメント利益は、営業戦略上受注した低採算の海外大口案件の売上計上があったものの、上述の売上増加や円安による採算改善もあり、前年同期を上回ることが出来ました。

以上の結果、当事業の受注高は6,406百万円（前年同期比117.5%）、売上高は6,143百万円（同121.7%）、セグメント利益は453百万円（同141.4%）となりました。



■ 受注 ■ 売上 ■ 利益

単位：百万円



バルブ事業

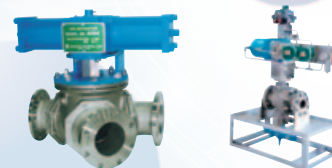
Valve

当事業の受注は、化学・鉄鋼・電力向けで堅調に推移したものの、中・小口案件が中心で大口案件が少なかったこともあり、前年同期を下回ることとなりました。

売上は、環境関連や中国向け大型案件の売上が寄与したこともあり、前年同期を上回ることであります。

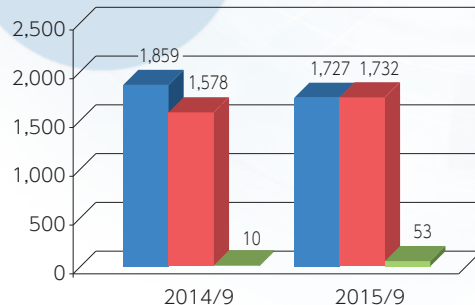
セグメント利益は、売上増加の影響や売価改善効果もあり、前年同期を上回ることであります。

以上の結果、当事業の受注高は1,727百万円（前年同期比92.9%）、売上高は1,732百万円（同109.7%）、セグメント利益は53百万円（同517.5%）となりました。



■ 受注 ■ 売上 ■ 利益

単位：百万円



生活産業機器事業

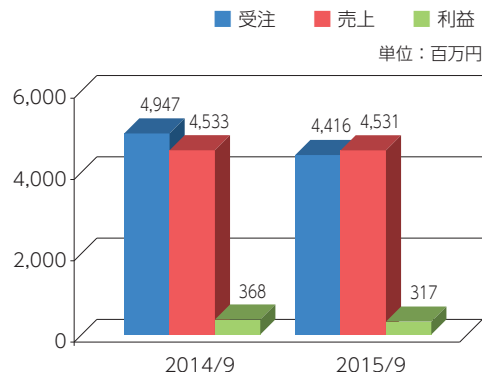
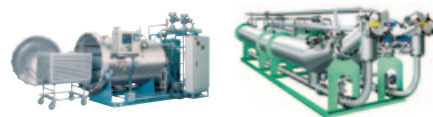
Vital
Industry

当事業の受注は、RCS（レトルト調理殺菌装置）や周辺自動化装置、国内外でのサーキュラー染色機の大型案件受注がありましたが、医薬機器における輸液滅菌機関連の大型案件延期により、前年同期を下回ることとなりました。

売上は、医薬機器で若干の落ち込みがあったものの、食品・染色機器関連でカバーすることが出来、前年同期と同水準となりました。

セグメント利益は、先行人材投資による間接費の増加等が影響し、前年同期を下回ることとなりました。

以上の結果、当事業の受注高は4,416百万円（前年同期比89.3%）、売上高は4,531百万円（同100.0%）、セグメント利益は317百万円（同86.1%）となりました。



その他事業

Others

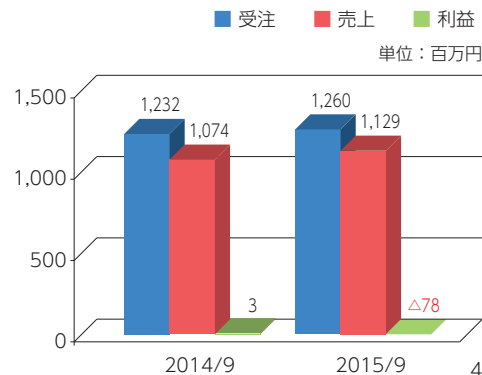
当事業は、国内外の子会社事業及び発電事業であります。

受注は、中国の景気減速により現地子会社が依然低水準で推移し、また国内子会社においても大口案件が少なかったものの、マレーシア子会社が比較的好調に推移したことや、買収した海外子会社の受注獲得があったことから、前年同期を上回ることとなりました。

売上は、海外子会社が伸び悩んだものの、国内子会社において機能性食品プラント案件等を計上したことにより、前年同期を若干上回ることとなりました。

セグメント利益は、マレーシア子会社及び国内子会社が利益を確保したものの、中国子会社の損失が拡大したことから厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当事業の受注高は1,260百万円（前年同期比102.3%）、売上高は1,129百万円（同105.1%）、セグメント損失は78百万円（前年同期は3百万円のセグメント利益）となりました。



※セグメント別概況は内部取引消去前の金額であります。

連結財務諸表 (要約)

単位：百万円

科目	2015年3月末	2015年9月末	増減	前期末比
資産の部				
流動資産	25,254	25,557	303	101.2%
現金預金	9,237	9,229		
売上債権	8,628	8,820		
棚卸資産	4,751	4,715		
その他	2,637	2,791		
固定資産	37,998	34,219	△ 3,778	90.1%
有形固定資産	12,019	11,761		
無形固定資産	275	472		
投資その他の資産	25,703	21,985		
資産合計	63,252	59,777	△ 3,475	94.5%
負債の部				
流動負債	7,822	7,880		
固定負債	4,466	3,488		
負債合計	12,289	11,368	△ 920	92.5%
純資産の部				
株主資本	41,046	41,210	164	100.4%
資本金	4,150	4,150		
資本剰余金	8,814	8,814		
利益剰余金	30,488	30,652		
自己株式	△ 2,406	△ 2,406		
その他の包括利益累計額	9,903	7,184	△ 2,718	72.5%
非支配株主持分	13	14	0	101.5%
純資産合計	50,963	48,409	△ 2,554	95.0%
負債純資産合計	63,252	59,777	△ 3,475	94.5%

単位：百万円

科目	2014年9月	2015年9月	増減	前年同期比
売上高	11,543	12,779	1,236	110.7%
売上原価	9,045	10,072		
売上総利益	2,497	2,707	209	108.4%
販売費及び一般管理費	1,808	1,996		
営業利益	689	710	21	103.1%
営業外収益	276	201		
営業外費用	11	92		
経常利益	954	819	△ 134	85.9%
特別利益	—	—		
特別損失	2	44		
税金等調整前四半期純利益	951	774	△ 176	81.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	641	462	△ 178	72.1%

連結貸借対照表

連結損益計算書

会社の状況 (2015年9月30日現在)

会社の概要

社名 株式会社日阪製作所
 英文社名 HISAKA WORKS, LTD.
 会社設立 1942年5月5日
 代表者 代表取締役社長 前田 雄一
 資本金 41億5,000万円
 発行済株式総数 32,732,800株
 株主数 2,929名
 従業員数 連結651名 単体506名
 主要な営業所及び工場

- ・本社 大阪市北区曽根崎二丁目12番7号
- ・東京支店 東京都中央区京橋一丁目19番8号
- ・名古屋支店 名古屋市中区栄一丁目12番17号
- ・鴻池事業所 東大阪市東鴻池町二丁目1番48号

主要な子会社

- ・マイクロゼロ株式会社 (東京都立川市)
- ・HISAKAWORKS S.E.A. SDN. BHD. (マレーシア)
- ・日阪 (中国) 機械科技有限公司 (中国)

役員

代表取締役社長	前田 雄一
専務取締役	寺田 正三
常務取締役	中崎 薫
常務取締役	中村 淳一
取締役	岩本 等
取締役	竹下 好和
取締役	船越 俊之
取締役	井上 哲也
取締役	富安 達二
取締役	加藤 幸江
常勤監査役	山田 卓夫
監査役	田中 等
監査役	平意 達雄

会計監査人

太陽有限責任監査法人

グローバルネットワーク

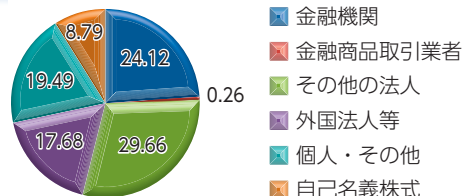


発行可能株式総数 129,020,000株
 発行済株式総数 32,732,800株
 自己株式数 2,876,866株
 株主数 2,929名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数及び持株比率
日新製鋼株式会社	2,903,264株 8.86%
株式会社日阪製作所	2,876,866株 8.78%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,275,200株 3.89%
日本生命保険相互会社	960,770株 2.93%
株式会社三菱東京UFJ銀行	912,640株 2.78%
因幡電機産業株式会社	910,802株 2.78%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	767,900株 2.34%
JUNIPER	746,000株 2.27%
株式会社タクマ	642,000株 1.96%
株式会社みずほ銀行	612,640株 1.87%

所有者別持株比率 (%)



株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日：定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

(その他必要のあるときは、あらかじめ公告いたします。)

公告方法：電子公告(当社ホームページ)

(但し、電子公告によることが出来ない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行う。)

ホームページ：<http://www.hisaka.co.jp>

定時株主総会：6月中

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先：〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

電話0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所：東京証券取引所 市場第1部

証券コード6247

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。